

展示会・豆知識

展示会いろいろ・すぴんおふ！

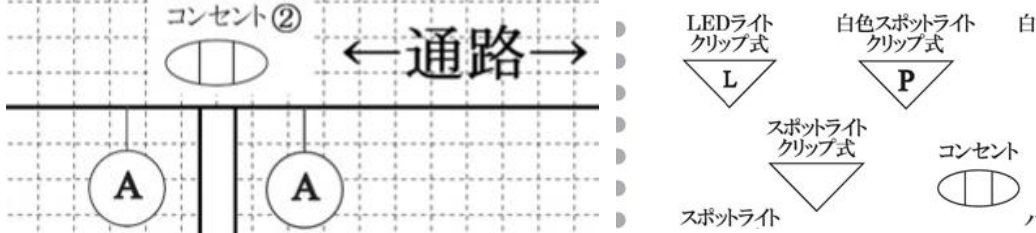
別添 (べってん)

コンセント配置等が複雑な場合は、様式(提出書類)とは別に、別添(べってん)こと、自前作成の書類を添えると無難。

プラス、様式には**びっしり**書き込んだりせず、

『※(詳細は)別添参照』と添え書きすると、親切かも？

※別添 参考。上の梁を伝わせ、柱に固定。



●記号(上図にご記入いただく際は記号でご

簡単で良いので絵があると◎。会場に着いてビックリ！

『なんじゃ、コリヤ〜?!』→呼びに行く→直して貰う〜のは、時間と労力がかかりまふ…、もとい、かかり申した。

まあ、別添があっても、駄目な時は駄目なんですネ…。(^_^;))

あと、電気関係はお金が掛かる為、自前で用意できないか、一時期、懇意の業者さんと相談しましたが、結局はレンタル…。

さて、電球を書類に一個一個 書いてると手間なので、最近まではプリンターで自作した簡単シールを貼ってました。直近では、様式そのものをスキャナー(EPSON GT-740)で取り込んで(※)、PC上で書き込んでます。手書きと違って修正も楽な上、文字が小さくてもちゃんと読める…なんて、最高ですよネ？

電球やコンセントの絵も、様式の絵を枠で囲って選択→コピー&ペースト→余白を魔法の杖でdelete→貼り付け。

いや〜、デジタル化って本当に良いですね。さよなら×3。

(※)A3サイズの様式は、左右の端から一回ずつスキャンして、PC上で合体させてます。(角度の微調整をお忘れなく…)

株式会社〇〇〇

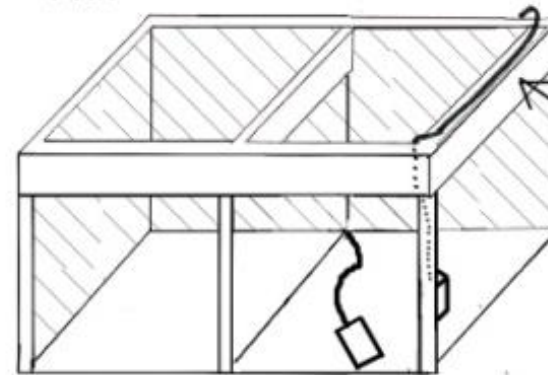
御担当：〇〇〇 様、〇〇〇 様

(有)〇〇〇 〇〇〇 様

2018〇〇〇〇〇〇

様式〇〇『別添』

(有)〇〇〇



⚠ 角のコンセントは、来場者 転倒予防の為、必ず梁を這わせて下さい。

(*1) 向かって奥のコンセントは、壁の真ん中から、コードを2メートル伸ばして下さい。

(*2) 角のコンセントは、梁(はり)にコードを這わせ(伝わせ)、柱の上から垂らし、差し込み口を奥側に向けた状態で、床上1メートルの高さで、柱に固定して下さい。

(*3) 7月6日 現在、小間の配置が未定です。上の図では、向かって左が壁となっていますが、向かって右に壁が来た場合は、角のコンセントを反対側の柱に取り付けて下さい。



(1マス=20cm)

※別添 参考。上の梁を伝わせ、柱に固定。

コンセント②

←通路→

※一部を除き、ブース端から 50cm。

↑通路
↓

※必ず、しっかりした
梁(ハリ)を
取り付けて下さい。

梁①



灰皿



消火器

お香実演場所

※実演中は、担当者が監視。

(a) 灰皿にお香立て①を設置。
点火したお香①をセット。

(b) 灰皿にお香立て②を設置。
点火したお香②or③をセット。

(c) 香木チップをご先祖まいりに
セット。灰皿上で点火&実演。

※別添 参考、コード 1.2m。

分電盤

壁面用 展示棚 No. 10

コンセント①



※別添 参考、コード 2m で床に設置。

※必ず控えをお取りください。

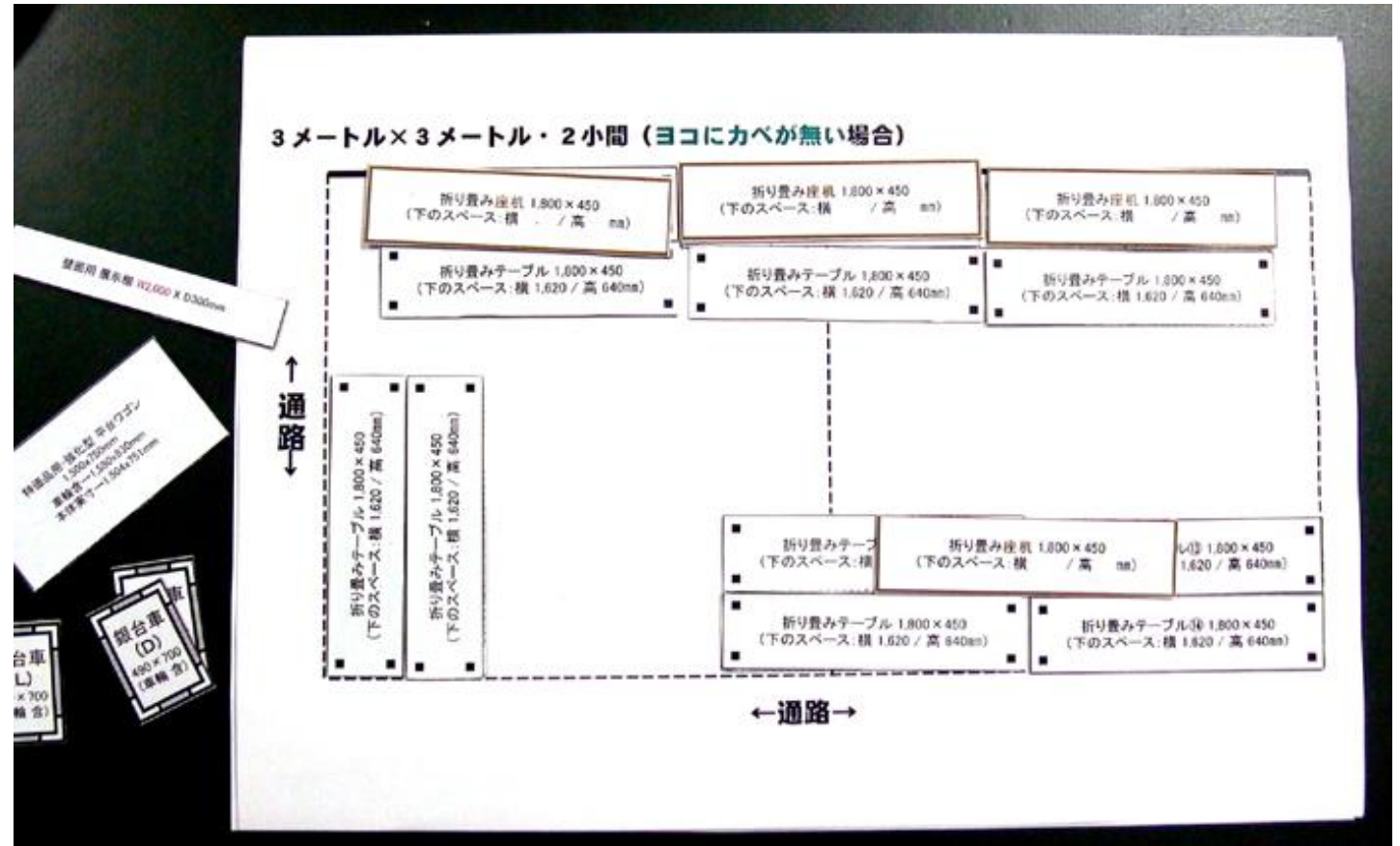
机上演習

Excel (エクセル) で行と高さを調整、方眼紙状に→1マス=?センチ×?センチと仮定して、小間の平面図を作成→折り畳み机等のコマを作成→それぞれ印刷→厚紙にドットライナーで貼り付けてカット→盤と駒が完成!

後は盤(平面図)の上に駒(折り畳み机等)を載けてウンウン唸ります。

展示会にもよりますが、1小間3×3メートルは30~50万円…。ギッチギチに詰め込みたい所ですが、ココは人の流れ(動線)を考えます。来場者様はイザという時の逃走経路を確認してから近づきますからね。強引な客引きはイヤ、カタログは欲しいが名刺は渡したくない、用が無いと判断したらオサラバしたい。そーいった心理から敬遠されないよう、一応、人が行き違えるくらいの通路幅を小間内に用意している…**つもり**です。(出来ぬ時は出来ぬのです…)

誰もいない所に入っていこうとすると意外と気後れ…。海千山千のパワフルな方々ならともかく、初見の方が紛れ込みやすいよう、特価品を用意するのも手。イザとなったら一個、百円のをポンと買ってオサラバできますし。元より、粗悪品は売ってませんヨ? 展示会の評判以前に、会社の存亡自体が危うくなりますからナー。気になる特価品の使い道はというと、クリーニング(?)して売ったり、お客さんにサービス品としてタダで配る等、用途は色々なようデス。



防犯

小さめの高額品はレジ等、スタッフの常駐場所 近くがベター。透明な箱を上から被せ、上に小さくて安いものを沢山 置くのも手。(S J社のY様、ありがと〜) 人が一人いるだけで随分と違うので、主催者指定のバイト派遣業者さんに手配を御願いますのも手。レジが打てる等、技術を求めるのも有りですが、弊社では『**来場者の印象を損ねないよう、全体的に小ぎれいな格好で(※但し、オシャレ不要)**』『**ものを丁寧に扱える人を**』御願しております。

カタログ

一番上に綴じる頁のみ、ホッチキス位置に、薄い色の線を入れると楽。(^_^;) それだけ? 直近では、インク節約と読み易さの為、各頁 右上の年度&頁は大幅に簡略化。※721は訂正の日付。月日の間に/が無いのは、1/9の『/』と被る為。



レジ

小さくて値札を括り付けるのが大変なものは、レジの余白にカンニングペーパーを貼りつけて対処してます↑

(ミニ香立は今回より2~5ヶ入パック。小さすぎて会計の際に見落すんですよね…。)

レジ袋を開きやすくする為に指先を濡らす『紙めくり(事務用スポンジ)』や感熱紙の領収証に押す角印は、耐震用GELで固定。但し、レシートが出てくる場所に近い場合は、実際にレシート送りをしてみて、レシートがぶつからないか、確認を。

(駄目な配置をして現場でオタオタしました…(T_T))

レシートロールは初日のみ、ピカピカの新品をセット。あまり忙しくない日は、使いかけをセット(エコ!)。あと、感熱紙の領収証は嫌!という方の為に、手書きの領収証もあると◎。但し、角印もそうですが、会場からホテルへ帰る際には忘れず持ち帰りましょ〜。

余談: 両替目的で万札を出される方が毎度、多数。…まあ、お互い様ですナ。あまり人様の事も言えたもんじゃありませんし…(汗)。てな訳で、十円・百円・五百円に加え、五千円札も多めに持参するようにしてます。



キープアウトテープ

シートで横断幕のようにブースを覆っている所もありますが、弊社では使い捨てのキープアウトテープ (モ〇タロウ)を使用。一時はロープを括り付けたりしていましたが、かえって手間がかかって大変でした。



輸送

昔はA Dバンに積めるだけ搭載。脚立の足が窓を突き破らないよう、養生したり…。(良いおもひで?)残りは宅配便でした。今は、運ぶものが多すぎる為、4トントラックをチャーター。業者の方も頑張ってくれてますが、東京近辺で”ドキューン!”円。地方へ行くととなると更にアップ!

テーブルとテーブルポーター(専用台車)

毎回、展示台(机)をリース(レンタル)すると、お金が飛んでいく為、K O K U Y Oの折り畳みテーブルと専用台車を購入。二輪可動の台車は、載せる時はともかく、降ろす時が大変。トラックの運転手さんがハコ内をズリズリと力づくでひこずって、車体後部の昇降台(パワーゲート)まで持って行き、そこでまた、向きを変えてました。(昇降台が大きい車以外だと、斜めにしないと収まりません)

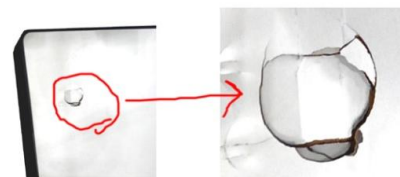
あと、弊社では奥行き 45cm のテーブルを購入したものの、奥行き 60cm のテーブルも搭載可能な共用品で 15cm 以上の隙間が…。そのおかげで輸送中に内部で机が倒壊、天板が陥没しました。

大枚はたいて修理をしたりと散々でしたが、今は発泡スチロールのでかいのを何枚も詰めて抑えにしています。扉(?)が閉まらない場合は門の金具をレンチでいったん緩めて、閉めたら再度レンチで締めてます。

余談ですが、輸送の振動で留め具が緩んで四隅のローラー(ミニ四駆のアレ)のネジやら門&ボルトが落っこちたり紛失したりも…。替えの部品を運賃付きで発注しなく無ければ小まめに確認、締め直しましょう!(男性は手で締め直しても良いけど、女性はレンチを忘れずにね♪)

嗚呼…。そふそふ、もうひとつだけ…。コンビテナーでもそうですが、重たいテーブルを多数 載せたコレは、迂闊にオウリヤア~!とやると、勢いが付きすぎて制御不能に。文字通り、凶器と化します。(冗談抜きで人死にが)バイトさんに手伝ってもらう際は、よく言って聞かせ、駄目なら身内だけでやりましょう。(コワレモノもネ… (-_-))

| ■会議用テーブル(角脚メッキ) | | | | | | |
|------------------|---------|-------|---------|--------|--------|--------|
| 品番 | 価格 | 寸法(幅) | 寸法(奥行き) | 寸法(高さ) | 寸法(重量) | 寸法(積層) |
| KT-M500r-pro-nN | ¥41,200 | 1800 | 450 | 700 | 1640 | 948 |
| KT-M501r-pro-nN | ¥48,800 | 1800 | 600 | 700 | 1640 | 948 |
| KT-M502r-pro-nN | ¥55,200 | 1800 | 750 | 700 | 1640 | 948 |
| KT-M5500r-pro-nN | ¥45,400 | 1800 | 450 | 700 | 1255 | 938 |



値段

200 円(税別)→216 円(税込)を、釣り銭が大変なので、会場持ち帰り特価 210 円(税込)としたり、1 ケース 12 個入→12 ケロット@¥90/個(税別)※@¥97.20/個(税込)を、会場一個売り 100 円(税込)としたり…。色々ですネ。

『12 個もいないヨ。お客サンへのサービスで少しだけ置いとけばいいんだからサ。(^^)』

『代引手数料とか送料とか、勿体ない!(>_<)』

『この場で手に取って品質を確かめた上で、負担にならない数だけ仕入れたいんだよね~(*^_^*)』

『カタログ欲しいんだけど…。(^o^)名刺? ゴメンね、切らしちゃった(^^v)』 ←?

案内状(招待状)

むかあしのことですが、封筒は、細い両面テープを切ったものを貼り付けて、封をしてました。今はK O K U Y O のドットライナーをア○ゾンで買って、封。急いでシャ〜ッ! シャ〜ッ! とやっていると壊れます。ゆっくり、やりましょ〜。



値札

今でこそ、本格的に製品に値札を貼って大量に並べていますが、元は殆どサンプルのみで、サンプルを持ち帰りい方用に少量、持参していただけでした。

昔、会場仕入 御希望のお客様から「あの見本で良いから売ってよ? (^o^)」→「あれは商談用に必要なものですから勘弁を…(>_<)」→「(販売分を) 持ってきてないものを、並べちゃダメじゃな〜い? (^_<)」なんて事もありましたな…。

お客様が会場仕入→持ち帰る→値札を剥がす→店頭に並べる…と言った流れが円滑スム〜ズに行くように、パックされた商品に関しては、エー○ソンの『はがせるラベル』をアマ○ンで 100 枚入を購入して貼ってます。カードが角くてはがしづらくない 140 面と 44 面が多いですね。カードが丸くてはがれにくい売りの 120 面と 65 面も、商品のサイズや貼る面積で使い分け。

プリンターの印刷設定をプロパティで専用の設定にしないと、表面のインクがザラザラになって擦ると台無しに…。プリンターとラベルの相性によっては、厚紙設定で印刷しないと…です。

あと、貼る位置も、(お客サンが右利きと仮定して) 右側に 1 mm 前後、はみ出させて剥がしやすい様にしてます。



さて、商品本体に直貼りする場合、表面が真っ平ら、ツルツルなものには、基本、不可！ペッチャリくっついて、うまく剥がれないのです…。お金と手間がダブルで掛かるものの、ここは**剥がせるタイプの**タッ○ラベルに貼ってダブルにしてから貼ってます。但し、これはチャック付ポリ袋には禁じ手。剥がすと貼ってた所がベニョベニョになり、値札も剥がれず残ります。

色を塗ってあるティンシャヤ おりん、ベルも不味いですね。ペリッと剥がすと、色が取れて地肌が見えます。無地のおりんなんか糊の跡が日焼けのようになって(接着剤が染みた?)残ります。

解決は簡単！厚紙に値札を貼ってカット。小さなカード状にして、内側に放り込むんでおだけ！特徴部分の写真を拡大して値札に作っておくと、値札が外れた時、どれがどれの値札か、照合が容易です。あと、ひっくり返っても、いちいち裏返さずに済むよう、表と裏、両方に貼っておくと◎ですね。



定番の銀色ティンシャヤなんかは、ペイントもないし、表面も凹凸が多いので、凹凸面にラベラー(強粘着ラベルセット)でパッチャン、パッチャン。後は剥がれないよう、指で擦りつけてます。ベタベタが残ったらM O O Oの消しゴムで擦り取る・ベンジンを使う・プラスチックの定規で削り取る(←自己責任！ 定規が傷みます…)などの手もあります。

そうそう、レザーコインケースの難有品は、問題箇所を示す矢印シールやら値札が綺麗に剥がれにくく、オマケに消しゴムで擦り取るにしても、数が多い場合には相当な手間なので、苦情が来ましたナ。



魅せる値札

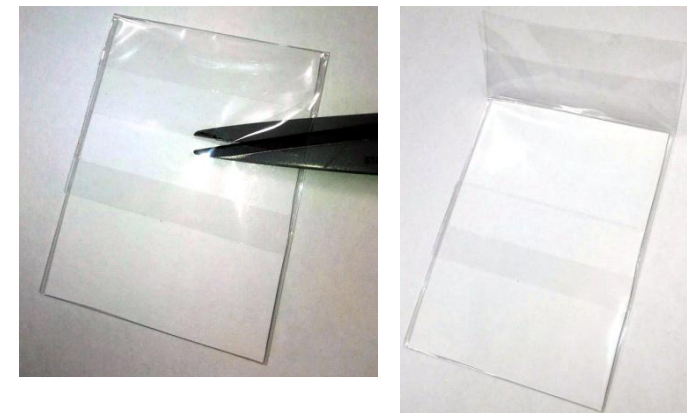
一定以上の大きさは、ハガキサイズ(ハイパーレーザーコピー)。但し、人の接触が多い場合は、折れ曲がりるので、厚紙にエー○ソンの四面などを印刷したものを貼ってカットしてます。角が痛いので、四隅は大きなハサミでカット。ただ、クリップ式の値札立てにセットしたり、パンチで穴を開けて紐や針金を通す場合は、余白を設けておかないと値札が読めなくなるので注意！あと、余白の位置(上下等)を間違えても悲惨です。



ただ、このやり方だと厚紙使い回しが不可能なので、ものによってはヘイコーのクリスタルパック(テープ付き)に、ラベル用紙ではなく普通紙に印刷した値札と、同じサイズにカットした厚紙を入れて封をしています。

※オリコン用の名札にも重宝。移動時の接触が多いので汚れやすいんです…。剥がす時のベリッ！もありませんし…。勿論、急ぎの時は厚紙 直貼りを使用。但し、その裏側にセロテープや透明荷造りテープを貼る事でベリッ！を防いでます。

クリスタルパックに入れとくと、安普請でも表面ピッカピカで見た目が豪華☆あぁ、そうそう…。中身を入れ替える際は、テープを剥がすと汚くなったり、最悪、パックが裂けます。鋏をテープ接着面を避けて差し込み、カット。中身を入れ替えたらセロテープで封。セロテープの端を二つ折りにすると、再開封の際にラクチン。



コンピューターソフト

値札作成ソフトはラベルマイティのE X”ドキュ〜ン…!” を使っている為、値札の向きによっては首を横にして画面を見ながら作ってます。カタログはクォーク(Quark EX Press)の“バキューン! ”。商品写真撮影はパナソニックのデジカメ『DMC-“パン!パン!パン!”』が現役。128MBのSDカードを差し込んでた時代の代物です。写真加工ソフトはフォトショップ・エレメントの“ドキュ〜ソ!”。(バージョンが古すぎて、改行すると行間をいじれないんですよ…)

オリコンと台車

折りたたみコンテナ(折り畳めるプラスチックの箱)ごと、オリコン。それと専用の台車。弊社が購入したのは、パネル無しテーブルの為、テーブルの下にオリコン台車を潜り込ませ、引き出しのように使う事が可能です。ただ、潜り込ませられる台車の台数やオリコンの大きさ(高さ)は、実際にテストしないと思わぬ計算ミスが…。採寸の際は、テーブルの脚と脚の間の距離、床から天板までの高さ、特に脚と天板の付け根のでっばっている所も計算に入れておかないと悲惨な目に遭います。



搬出入では、車輪が大きくガツシリした台車が便利ですが、机の下に入れる際は、車輪が小さく肩幅が狭い旧式をあえて使用。引っぱり出したり、押し込んだり、が楽なんですよ。あと、ミニのオリコンを仕入れたら、たまたまこの台車に二つセット出来るサイズでした。超ラッキー☆

PS;最近は出張販売に頑丈なプラケース(サンボックス#13?)を愛用。折りたたみ式の台車と一緒に車に搭載。(ダンボール箱だと中身が見えないんですよ…)会場持参の際は、(昔、テルウェルで五千円した)普通の台車に搭載。それ以前に購入した二輪しか動かなかつたり、安物買いの銭失いで懲りましたからな…。

行きは良いけど、帰りが大変…。

多品種少量が売りの輸入雑貨、毎度 同じ配置でコンビテナ(車輪付きカゴ)に載せたりやしません…。売れ残った持ち帰る分をザックリ、下に頑丈な物、上に脆い物…という感じで配置。車輪付きとはいえ、ガタゴト行けば衝撃ダメージは加わります。また、上が重たければ転倒の恐れが…。横方向に偏ってれば動かす際にトンデモナイ方向へ勢い付く事も。勢いを付けて運んでいる際にうまくカーブする筈が人に当たってしまった、器物を破損してしまった、なんて事になったらシャレにもならず。

テキトーにバランスを考えて載せますが、仕方がない場合はトラックの運転手さんに分かる様、簡単な張り紙を(マスキング?)テープで貼り付けておきます。

マジックテープとダンボール箱

ア○ゾンで買ったトラ○コ中山のマジックテープを、ダンボール箱にぐるっと一周。きびってます。頑丈なので、持ち手(ハンドル)にもなり、便利！ コンビテナーの棚板に載せる際、棚板(すのこ?)に隙間があると、向き次第ではテープが引っかかります。そこで、荷造り用の透明テープでマジックテープをダン箱に貼り付けて固定。これだと開封の際にマジックテープがイチイチどこかに行かず、邪魔にもならず、出したりしまったりの手間もなくて楽勝です。

その他・豆知識

カタログをFAXして下さい

最近『FAXの調子が〜』と、DMを警戒される事が多いですが、さておき、カタログをFAXする際は、白黒プリンターで印刷したものをFAXします。カラーを直接FAXしたり、グレースケールに変換して印刷したものをFAXしたりすると真っ黒でした(>_<)。2018/08/11 白黒印刷したものをFAXしたら、「真っ黒でしたよ?」と言われました。相性もあるようです。

左下：ミニヴァジュラとスカルリング(指輪)を丸カンやら色々でつないで作った囚人スケルトン

右下：むかあ〜し、1997年〜2000年頃、東京ギフトショーに1ブースで出ていた写真です。

